

7章 プランをリードするプロジェクト

本章では、平成14年度から平成15年度にかけて本計画策定のために活動したこまつ環境プラン市民会議（自然、生活、地球環境部会）から提言された6つのプロジェクトを取り上げています。これらのプロジェクトは、個別施策を横断的に結び、関連性を持って計画を効果的に進めるため立案されたプロジェクトとなっています。

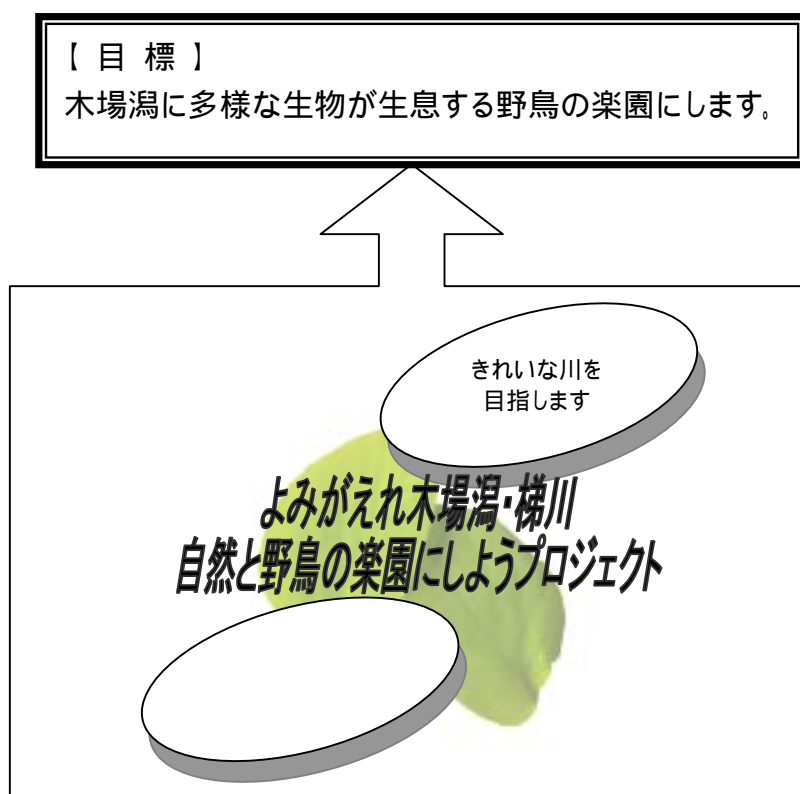
今後、市民、事業者、行政のパートナーシップによる推進体制の中で、更に議論を深め全市的な取り組みとしての展開や実現が期待されます。

1 自然環境

(1) よみがえれ木場潟・梯川 自然と野鳥の楽園にしようプロジェクト

木場潟は県内でただ一つ自然のままの姿を残す湖で、かつては「水郷の里」と呼ばれるほど自然豊かで美しかったといわれています。しかし、近年は水質環境基準値のCOD 3mg/lを大きく上まわり、国内でも特に汚れが著しい湖の一つとなってしまいました。そのため、木場潟周辺では公共下水道の整備、浄化槽の普及推進、潟周辺の清掃活動など、水質浄化対策に取り組んでいます。

この事より、私たちはパートナーシッププロジェクトとして、木場潟、梯川をはじめとする水辺を豊かな自然が溢れ、様々な野鳥が生息する「自然と野鳥の楽園」とすることを目指します。



きれいな川を目指します

【STEP 1】できるところから水質浄化に努めます				【STEP 2】生活排水対策のための組織づくりを行います			
地域の特性に応じた環境の活動組織の設立	市民	企業	行政	生活排水対策	市民	企業	行政
1 町内会組織(婦人会等)を活用し、生活排水による水質の汚染状況を調査し、広く市民に公表します。				1 市民、行政、NPOなどとのネットワークを構築し、(仮称)木場潟再生対策協議会を発足することで、生活排水対策の一本化を図り活動の輪を広げます。			
環境に関する情報取得や講習会への参加	市民	企業	行政	計画的な土づくりによる地力の向上	市民	企業	行政
2 環境関連のNPO団体などの専門家による、生活排水対策に関する出前講座を開催し、“汚さない工夫”を学習します。				2 減農薬による農業排水への効果について把握し、水質の向上を図ります。			
梯川など市内の河川を「ふるさとの清流」に	市民	企業	行政	【STEP 3】梯川をふるさとの清流にします			
3 生活排水の浄化を近隣他市町村に働きかけます。				梯川など市内の河川を「ふるさとの清流」に	市民	企業	行政
下水道などの普及促進	市民	企業	行政	1 梯川のBODを1mg/l以下にします。			
4 下水道(本管)接続率の目標値を設定し、目標実現に向けた取り組みを行います。							

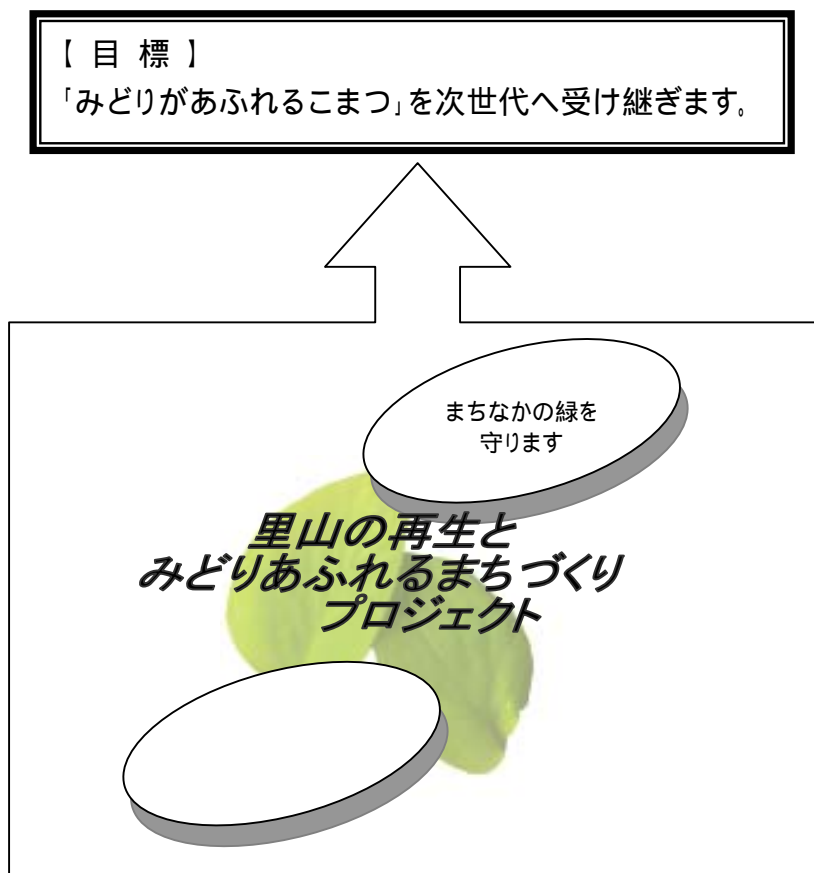
みんなで木場潟を再生します

【STEP 1】木場潟についてみんなで学習します				【STEP 2】木場潟の未来を考えます			
木場潟を舞台に水環境学習の推進や啓発活動	市民	企業	行政	みんなでつくる木場潟再生計画	市民	企業	行政
1 木場潟での水環境学習会や観察会などの開催や清掃活動などを通じ、子供から大人までが木場潟とふれあう機会を創出します。				1 野鳥の生息環境の改善を含めた、木場潟再生のための具体的な方策づくりを行います。			
2 専門家を招き、植物観察会を開催し、生息する鳥や植生を調査します。				2 野鳥が棲みやすい環境づくりを進めるため、鳥獣保護区の拡大を検討します。			
木場潟の水質改善の取り組み	市民	企業	行政	3 動植物の在来種の保護を目指します。			
3 市民が参加しての環境調査(湖底、植生、水流など)を行い、広く市民にその結果を知らせます。				【STEP 3】水郷の里を取り戻します			
				みんなでつくる木場潟の再生計画	市民	企業	行政
				1 浚せつしたヘドロなどを利用し、中州や人工島をつくり野鳥の生息地とします。			
				2 野鳥の数や生息する種類の目標値を設定し、実現のための取り組みを行います。			
				3 木場潟のCODを3mg/l以下にします。			

(2) 里山の再生とみどりあふれるまちづくりプロジェクト

小松市の緑は、都市の近代化とともに減少し、里山においては、ごみの不法投棄による汚染や手入れがされず、草木が乱雑に茂っているところもあります。

私たちはパ-トナ-シッププロジェクトとして、これらの緑を守り・育て、里山を再生することで、「みどりがあふれるこまつ」を未来の子供たちへ受け継いでいくことを目指します。



まちなかの緑を守ります

【STEP 1】身近なみどりの現状をみんなで調査します				【STEP 2】貴重な巨樹・古木を未来に継承します			
「ふるさと環境探検隊」などによる環境活動の実施	市民	企業	行政	いつまでも残したい鎮守の森、巨樹、古木などの保全	市民	企業	行政
1 地域の協力を得ながら、子ども探検隊を組織し、ふるさとの環境調査を行います。				1 「(仮称)巨樹・古木を守る会」等を組織し、貴重な巨樹・古木について、文化財の指定や保存樹・保存林の指定を行います。			
2 放置林や巨樹・古木などに関する調査を行い、現状を把握します。				市民にわかりやすい文化財マップなどの作成	市民	企業	行政
小松空港や小松駅など玄関口としてふさわしい緑化	市民	企業	行政	2 市民が手に取りやすい文化財マップを作成し、こまつの魅力をPRします。			
3 花いっぱい運動への参加やプランターの設置など、まちなかの緑化に市民自らが取り組みます。							
里山の再生	市民	企業	行政				
4 松食い虫等の対策に関する計画づくりを行います。							

100年後の森づくりを行います

【STEP 1】市民と森とのふれあいの場を提供します				【STEP 2】木や森を守る仕組みづくりを行います			
「ふるさと環境探検隊」などによる環境活動の実施	市民	企業	行政	県立自然公園などの保護と活用	市民	企業	行政
1 森を活かした自然体験プログラムによる子どもの環境教育を充実します。				1 地域・行政・NPOなどをネットワークする組織づくりを行い、環境調査の結果を踏まえ、貴重な動植物や森の保全、育成を図ります。			
市民の森・記念樹の森など、自然との触れ合いの場の整備	市民	企業	行政	2 市民を交え、大日山自然公園のあり方や将来の姿を検討します。			
2 市民の森づくりや記念植樹による未来の森づくりを行います。				里山の再生	市民	企業	行政
				3 里山オーナー制度や里親制度などの活用により、市民の手による林の間伐や植林などを積極的に行います。			

2 生活環境

(1) ごみ減量推進プロジェクト

ごみ問題は、もっとも身近な環境問題です。ごみ減量・3R（Reduce発生抑制、Reuse再使用、Recycle再利用）の実践は、地球温暖化ガスの発生をも抑止しますし、負荷を低減するという意味で自然環境の保全にもつながります。

そして、個々の市民が、思い立てば、すぐに実践できる課題です。

この事より、私たちはパ-トナ-シッププロジェクトとして、日常の暮らしを見直し、循環型社会にふさわしいエコライフを作り上げていくことを目指します。



Reduce発生抑制を進めます

【STEP 1】Reduce発生抑制にできるところから取り組みます				【STEP 2】Reduce発生抑制の仕組みづくりを進めます			
グリーン購入の推進	市民	企業	行政	市民主体でごみの発生抑制や減量化への検討	市民	企業	行政
1 グリーン購入（選ぶ・断る）、グリーン使用（使い切る）、グリーン排出（分ける・返す）を促進し、使い捨てライフスタイルからの転換について市民主体で検討します。				1 ごみ有料化や排出量の減少を誘導する取り組みを、市民が主体となって検討を進めます。			
市民主体でごみの発生抑制や減量化への検討	市民	企業	行政	ごみゼロの実現	市民	企業	行政
2 不要なダイレクトメールの受取拒否を通知します。				2 設計・調達段階からの環境配慮、グリーン購入等、発生抑制を重視したモデル事業所の実践と成果を、広く市民・事業所へ提供し、ネットワーク化を図ります。			
台所からのごみの発生抑制と減量化	市民	企業	行政	すべての市民がマイバック等を持参できる仕組みづくり	市民	企業	行政
3 地域単位でのエコクッキング講習会を開催し、生ごみを出さない工夫を学習します。				3 マイバック運動を推進する全市民的な支援体制を検討します。（地域通貨等）			
すべての市民がマイバック等を持参できる仕組みづくり	市民	企業	行政				
4 事業所は、マイバックを持参しやすくする仕組みの拡大と、マイバック持参率の各店目標を設定し、市民は、マイバック運動に積極的に参加します。							
小売店からのごみの発生抑制の推進	市民	企業	行政				
5 トレイ・過剰包装の自粛、詰替用商品の品揃え充実します。							
事業者の拡大生産者責任	市民	企業	行政				
6 事業者の拡大生産者責任に基づき、発生抑制の視点に立って事業活動を行います。							
食品リサイクル運動や食品ロスの改善	市民	企業	行政				
7 給食残さの減量化に努め、学校間で実績の公開します。							
公共施設などでの環境への取り組み	市民	企業	行政				
8 行政サービスの中でのごみ発生を減らすように、見直します。							

Reuse再使用を進めます

【STEP 1】Reuse再使用にできるところから取り組みます				【STEP 2】Reuse再使用の仕組みづくりを進めます			
環境にやさしい生活の実践	市民	企業	行政	市民主体でごみの発生抑制や減量化への検討	市民	企業	行政
1 風呂の残り湯や古着の活用等、暮らしの知恵を交流します。				1 地域での不用品交換会の定期開催を進めます。			
フリーマーケットなどによる再利用の促進	市民	企業	行政	2 リターナブル容器などの地域収集を行い、その益金での環境活動を推進します。			
2 フリーマーケットの積極的な利活用と、開催情報、家具等の耐久消費財の交換情報や3R推進に有効な情報の効果的提供を行います。							
ISO14001または、エコアクション21への取り組みを推進	市民	企業	行政				
3 事業所での3R実践とその情報交流をします。							
自動販売機の設置抑制	市民	企業	行政				
4 デポジット制・リターナブル容器の商品の拡充を進めます。							
エコスクールを育てる体制づくり	市民	企業	行政				
5 教材・制服等の再使用制度を確立します。							

Recycle 再利用を進めます

【STEP 1】Recycle再利用にできるところから取り組みます				【STEP 2】Recycle再利用の仕組みづくりを進めます			
台所からのごみの発生抑制と減量化	市民	企業	行政	事業者の拡大生産者責任	市民	企業	行政
1 生ごみ処理機・コンポスト・ボカシ等の活用情報を提供します。				1 販売した商品の使用済み品・容器等の自店回収品目を拡大し、効率的なりサイクルを進めます。			
小売店からのごみの発生抑制の推進	市民	企業	行政	2 事業活動における資源ごみの再資源化ルートを開拓します。			
2 再生製品の積極的な販売・購入による循環を促進します。				廃食用油の資源化の検討	市民	企業	行政
				1 廃食用油の収集・資源化システムの具体化と再生品の利用を促進します。			
				2 食品リサイクル運動や食品ロスの改善			
				台所からのごみの発生抑制と減量化 地域における落ち葉等の有機資源の資源化やごみ減量化	市民	企業	行政
				3 生ごみなどを利用した地域での堆肥作りとその活用を進めます。			

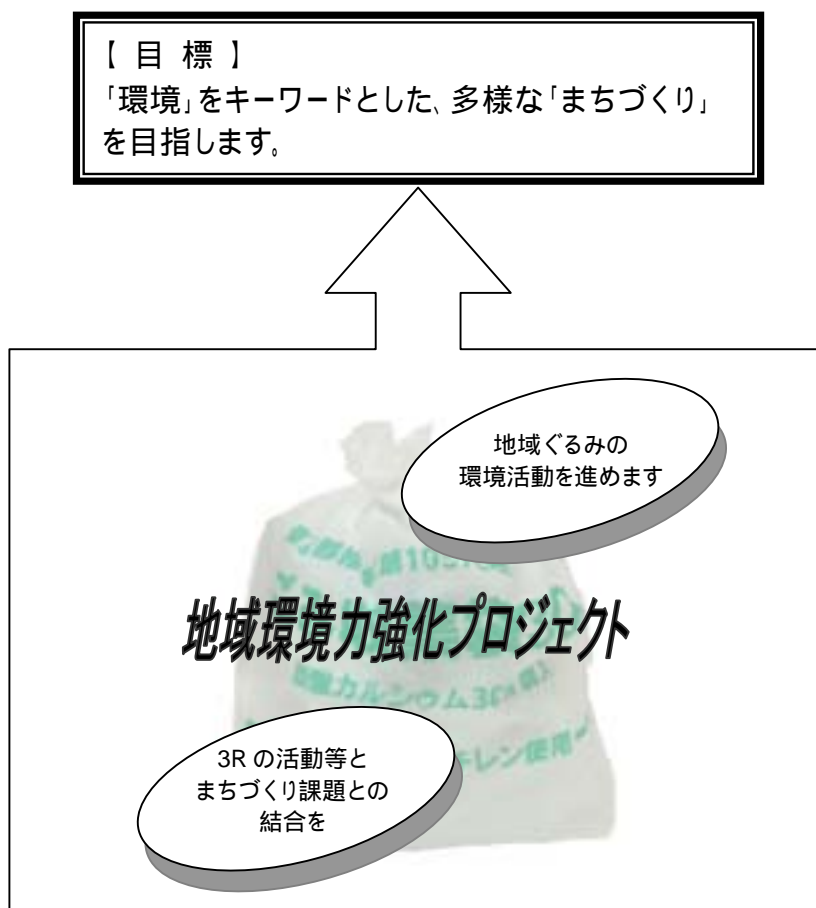
3R の推進のための仕組みづくりを進めます

【STEP 1】3Rに関する意識の醸成を進めます				【STEP 2】3Rに関する活動を更に充実させます			
「環境にやさしいまちづくり」(仮称こまつ地域版環境ISO)の検討	市民	企業	行政	小売店からのごみの発生抑制の推進	市民	企業	行政
1 家庭での3Rの取り組みを進めるためのプログラムを作ります。				1 行政の支援のもとに、3R推進のモデル店を指定し、環境活動・取扱い品等の情報公開をします。			
ごみゼロの実現	市民	企業	行政	事業者の拡大生産者責任	市民	企業	行政
2 3Rの施策を体系的に積み上げ、焼却・埋立処理を行うごみの量を削減します。				2 市民・事業者の声も踏まえ、容器包装リサイクル制度の改善、事業者責任によるリサイクル品目の拡大等について、国への働きかけを行います。			
3 3Rに配慮したごみ出しカレンダーの作成を、市民参加で作ります。				ごみゼロの実現	市民	企業	行政
環境に関する情報取得や講習会への参加	市民	企業	行政	3 一括集中処理・行政の一元化だけではなく、ごみの特性に応じた形で、分散・多元的なごみ処理体系を検討します。			
4 3R・分別徹底のための説明会や、マイバッグ運動等、3R推進のため消費者・行政との情報交流をします。				4 ごみ減量化に係る目標値・行動計画を立案し、随時その遂行に必要な手段、情報を提供します。			
お祭やイベントでのエコ化の推進	市民	企業	行政	地域における環境活動の拠点づくり	市民	企業	行政
5 イベントでは、分別の徹底やリターナブル容器を使用します。				5 地域における環境活動拠点のモデルの設置を検討します。			
事業者の拡大生産者責任	市民	企業	行政	【STEP 3】地域における環境活動拠点を充実します			
6 3Rに配慮した商品政策・販売政策を進めます。				地域における環境活動の拠点づくり	市民	企業	行政
7 過剰包装・替替用商品の品揃え・3R推進に必要な商品改善等について、市民からの情報を集めます。				1 地域における環境活動拠点を地域の条件に応じて配置することを目指します。			
地域における環境活動の拠点づくり	市民	企業	行政				
8 地域における環境活動の拠点づくりに関する構想の具体化を進めます。							

(2) 地域環境力を高めるプロジェクト

“地域”は日々の暮らしの場であり、環境への行動を起したときの成果を、身近に感じることができます。そのため、明確に環境問題への意識を持ちやすく、主体的に行動しやすい場であると言えます。

これからは、環境負荷を低減するというだけでなく、地域の「問題点」「特性」を理解し、地域の知恵と力を活用して環境問題に取り組み、生き生きとした「環境のまちづくり」を目指します。



地域ぐるみの環境活動を進めます

【STEP 1】地域ぐるみの環境活動の仕組みづくりを進めます				【STEP 2】地域ぐるみの環境活動の充実を図ります			
地域の特性に応じた環境活動組織の設立	市民	企業	行政	「環境にやさしいまちづくり」(仮称こまつ地域版環境ISO)などの検討	市民	企業	行政
1 全ての町内会に「(仮称)環境部」を設置し、ネットワークを形成します。				1 モデル施行の問題点と成果を整理し、取り組みの見直しを行います。			
「環境にやさしいまちづくり」(仮称こまつ地域版環境ISO)などの検討	市民	企業	行政	2 地域環境力を高めるプロジェクトの構想プランを公募し、その取り組みを支援します。			
2 モデル地域を選定し、「地域版環境ISO」や「地域環境協定」、「こまつ環境プランの地域版」など地域の実践的な取り組みを行います。				【STEP 3】地域ぐるみの環境活動の定着を図ります			
3 地域の実践的な取り組み方について、コーディネーターなどを活用し、検討します。				「環境にやさしいまちづくり」(仮称こまつ地域版環境ISO)などの検討	市民	企業	行政
4 地域環境力の理解を深めるセミナー・や活動を行います。				1 「地域版環境ISO」や「地域環境協定」、「こまつ環境プランの地域版」などの環境活動に取り組みます。			
				2 各活動団体などと連携・協力を深め、成果と教訓を踏まえた全市的なプロジェクト課題への展開を検討します。			

地域のエコ活動

環境問題の解決には、個々の努力だけではなく、地域に住む人たちが協働してエコ活動に取り組んでいくことが不可欠です。だれでも参加できて親しみやすい取り組みとして、例えばエコクッキングの実践やマイバッグ持参、ふるさとの自然調査、環境啓発講演会、共同堆肥づくり、ごみ減量大作戦などが考えられます。

そういった取り組みへのルール(地域環境協定)を地域に住む人たちで定め、地域みんなでエコ活動に取り組むこと、地域版・家庭版ISOに取り組むことが地域環境力を高めることにつながります。また、エコ活動を継続的に推進していくためには、環境活動のリーダーを育成していくことが大切となります。

地域環境力：地域資源の把握と、住民や事業者、行政などが連携し、一つの方向性を共有し、それぞれがよりよい環境を創っていかうとする意識・能力のことを『地域環境力』といいます。地域環境力を高めていくための活動の主体は、地域で生活する人々です。町内会、学校、商店街、企業、農協等の協同組合、NPO、社会福祉協議会など活動の主体は様々です。

(H15度 環境白書から)

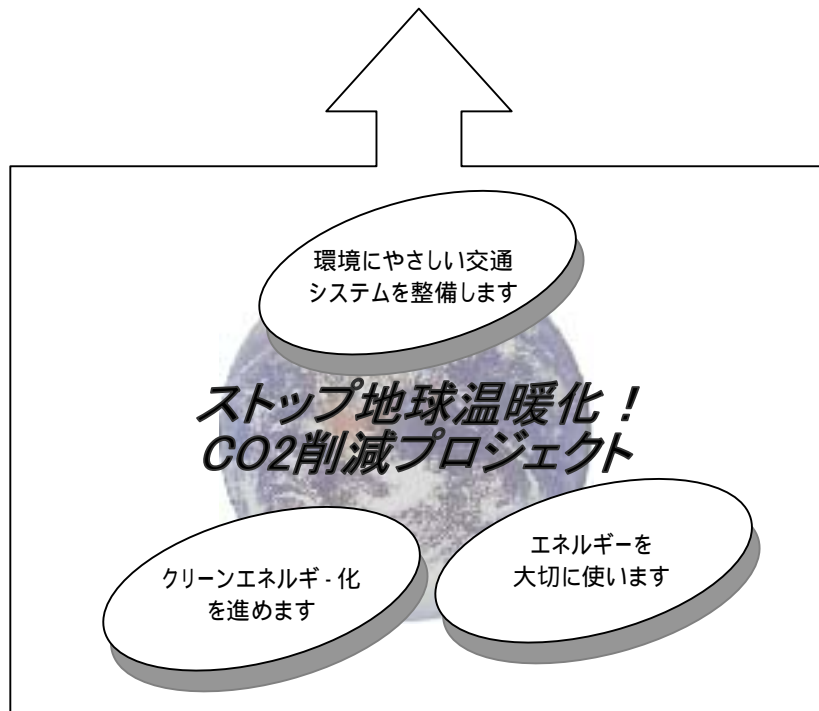
3 地球環境

(1) ストップ地球温暖化！CO₂削減プロジェクト

地球の温暖化がこのまま進むと、100年後には最大6.5度の上昇が予測され、世界で最も重要な問題のひとつとして位置づけられています。それは化石燃料に頼った私たちの日常生活や産業活動のあり方に原因があり、主な直接原因であるCO₂の排出を減らすことが急務となっています。

この事より、私たちはパ-トナ-シッププロジェクトとして、基本目標にも掲げられている、CO₂の15%削減（2012年までに）を目指し、エネルギーと交通の両面から環境にやさしい日常生活や産業活動への転換を目指します。

【目標】
2012年までにCO₂を15%減らします。



クリーンエネルギー化を進めます

【STEP 1】実用可能なクリーンエネルギーを導入します				【STEP 2】クリーンエネルギーの幅広い導入を目指します			
クリーンエネルギーへの転換	市民	企業	行政	クリーンエネルギーへの転換	市民	企業	行政
1 公共施設、事業所において、太陽光発電、天然ガス、バイオマス燃料などのクリーンエネルギーを積極的に導入します。				1 風力発電、廃棄物熱利用や発電、バイオマス熱利用や発電を導入します。			
2 行政として、太陽光発電などのクリーンエネルギーの導入に対し助成を行います。				2 自然の川の流れを利用する小規模地域自給型水力発電を導入します。			
3 石炭・石油等の環境負荷の高いエネルギーから天然ガス等の環境負荷の低いエネルギーへの転換を図ります。				車からの環境への負荷を低減	市民	企業	行政
車からの環境への負荷を低減	市民	企業	行政	3 公共交通システムへのクリーンエネルギー自動車の導入の拡大を図ります。			
4 クリーンエネルギー自動車を導入します。				【STEP 3】本格的なクリーンエネルギー社会を目指します			
				クリーンエネルギーへの転換	市民	企業	行政
				1 燃料電池などの分散型エネルギーシステムを導入します。			
				2 水素エネルギーの導入やクリーンエネルギーの一層の導入拡大を図ります。			
				車からの環境への負荷を低減	市民	企業	行政
				3 燃料電池車の本格導入を進めます。			

エネルギーを大切に使います

【STEP 1】できるところから省エネに取り組みます				【STEP 2】省エネライフを深めます			
エネルギー効率の向上	市民	企業	行政	地産地消の仕組みづくりの検討	市民	企業	行政
1 省エネ型蛍光灯・電球を使用します。				1 学校給食には地場産の農産物を8割使用します。			
2 高効率の家電製品を活用して待機電流をカットします。				エネルギー効率の向上	市民	企業	行政
3 エネルギー使用実態を調査します。				2 照明は省エネルギー型のものに切替え、商業施設などの照明削減を進めます。			
環境にやさしい生活の実践	市民	企業	行政				
4 環境家計簿を推進します。							
車からの環境への負荷を低減	市民	企業	行政				
5 ディーゼル車の削減、低公害車や燃費の良い車への切替えを推進します。							

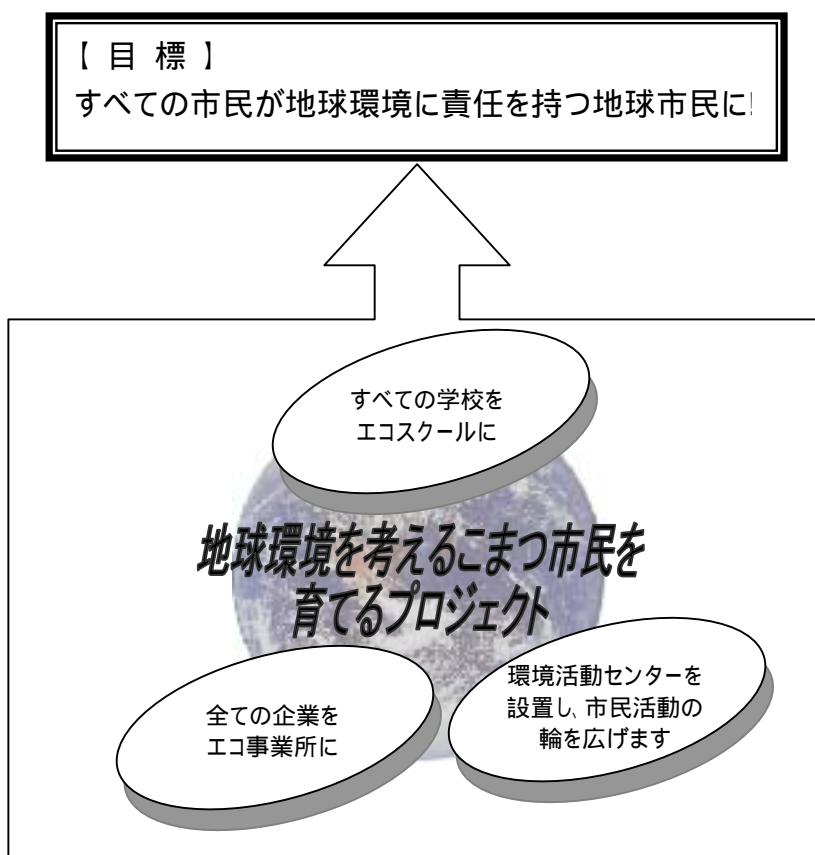
環境にやさしい交通システムを整備します

【STEP 1】自転車が楽しく安全に乗れるまちづくりを進めます				【STEP 2】バス路線や物流貨物路線の見直しを行います			
車からの環境への負荷を低減	市民	企業	行政	車からの環境への負荷を低減	市民	企業	行政
1 自転車専用道路の整備拡充を進めます。				1 既存のバス路線や料金を見直し、利用されるバスを目指します。			
2 駐輪所を増設し、レンタサイクルを増やします。				2 市内循環バスにはエコ定期を新設します。			
3 バスには自転車を積み込めるようにします。				3 物流においてはより環境にやさしい方向へ移行します			
4 自転車を積極的に活用し、「自転車ライフ」を楽しみます。							

(2) 地球環境を考えるこまつ市民を育てるプロジェクト

『地球環境を考えて行動できる』21世紀にはとても重要な条件です。これまでの私たちはこの事をしないで自然の許容範囲を超えた営みを繰り返して来たため多くの自然を失ってきました。

自然の仕組みを理解し、みんなが地球への思いやりを持った地球市民になれることを目指して環境教育プロジェクトを行います。



すべての学校をエコスクールに

【STEP 1】年間教育として取り組むことを全校に広めます				【STEP 2】学校版環境プログラムづくりを目指します			
エコスクールを目指す体制づくり	市民	企業	行政	エコスクールを育てる環境整備	市民	企業	行政
1 教員対象の環境教育研修を充実させます。				1 市民、行政、専門家による一貫教育検討委員会を設置します。			
2 市内の保育園、幼稚園、各学校はいしかわ版学校 ISO 取得を目指します。							
3 環境教育を優先的に導入します。							
4 環境教育にまちの先生を積極的に活用します。							
里山の再生	市民	企業	行政				
5 里山を自然教育プログラムの場としての活用を検討します。							

すべての企業をエコ事業所に

【STEP 1】モデル事業所づくりを進めます				【STEP 2】すべての企業のエコ事業所化を目指します			
ISO14001または、エコアクション21への取り組みを推進	市民	企業	行政	ISO14001または、エコアクション21への取り組みを推進	市民	企業	行政
1 ISO14001やエコアクション21への参加を推進します。				1 企業間交流ネットワークを進めます。			
こまつ環境賞（仮称）を創設	市民	企業	行政				
2 エコオフィス表彰制度を設けます。							

環境活動センターを設置し、エコ市民とエコ活動の輪を広げます

【STEP 1】地域環境リーダーの育成を目指します				【STEP 2】町内に環境活動組織づくりを進めます			
環境に関する情報取得や講習会への参加	市民	企業	行政	地域の特性に応じた環境の活動組織の設立	市民	企業	行政
1 市民への啓蒙・啓発のためのセミナーなどを実施します。				1 町内会単位での環境活動（エコ化推進、研修会、学習会、エコツアーなど）を推奨します。			
こまつ環境賞（仮称）を創設	市民	企業	行政				
2 環境活動センターを設置し、情報提供を図ります。				2 NPOや行政の働きかけにより、町内の環境活動組織の設置を推進します。			